

漁況海況予報事業浅海定線調査

(陸 奥 湾)

(要 約)

山中崇裕・三津谷正・中谷 肇・浜田勝雄 外 (調査船なつどまり)

この調査は、陸奥湾の漁業および増養殖業の発展に役立てるため、海況の特徴や永年変化などを把握し海況予報の基礎資料を得ることを目的として実施しているものである。なお、結果の詳細については、別途報告書※により公表済みである。

調 査 方 法

- (1) 調査船：なつどまり (水産増殖センター調査船) 24.96トン、260ps、10ノット。
- (2) 調査点：例年の6定点、および湾口部に St. A、B を追加。
- (3) 調査項目および方法：「昭和53年度漁況海況予報事業東北ブロック実施要領 1978 年12月東北区水産研究所」他に依り実施し、前年度までと同様である。なお観測結果のとりまとめは昭和62年1月から12月を対象とした。
 - ① 水温・塩分：0、5、10、20、30、40m および底層。St. A、B は 0、10、20、30、40、50m および底層。
 - ② 溶存酸素：St. A、B を除く全 St. の底層。
 - ③ クロロフィルa：St. 2、4 の 0、20、40m 層。
 - ④ 水色・透明度
 - ⑤ 気 象：天気、雲量、風向・風力、気圧、気温、波浪階級について観測した。
- (4) 調査回数：昭和62年1月から12月の間に月1回、計12回実施した。

調 査 結 果

- (1) 海況の推移については表1にまとめて示した (気象については「青森県気象月報」を参照した)。なお、水温・塩分は1972～1983年の累年平均値を平年値とし、塩分は「実用塩分1978」によった。
- (2) 底層溶存酸素量の最低値は、9月9日 St. 5 の 4.79 mg/l (飽和度 60.3%) であった。
- (3) クロロフィルa は 0.1～4.0 mg/m³ で、St. 2、4 とともに3月の値が高かった。(最高3月19日 St. 2. 40 m層)
- (4) 水色は4～5、透明度は9～17mの範囲であった。

※ 昭和62年度海況海況予報事業浅海定線調査結果報告書 (陸奥湾) 昭和63年3月

表1 昭和62年陸奥湾海況の推移

月	実 況	平 年 比	気象・その他特記事項
1	- 水温は3.8～8.1℃で、前月と比べると4℃程度降温した。 - 塩分は33.2～33.5であった。	- 水温はSt. 1～4 では平年より0.8～1.8℃低く、St. 5では3.4～3.8℃低い。 - 塩分はSt. 1～4 では平年より0.1～0.4低く、St. 5では0.5程度低い。	寒暖の変動大
2	水温は3.3～6.6℃、塩分は33.1～33.5であった。	- 水温はほぼ平年並み。 - 塩分は平年より0.2～0.4低い。	- 年間最低水温 3.3℃(St. 4の30m以深) - 各地で最深積雪 4日(野辺地 116cm)
3	水温は3.9～6.8℃、塩分は33.6～33.5であった。	- 水温はSt. 4 の20m以浅で平年より1.1～1.6℃高く、その他はほぼ平年並み。 - 塩分はほぼ平年並み。	
4	- 水温は表面で5.9～8.2℃底層で5.4～7.4℃であった。 - 塩分は33.3～33.7で鉛直差は小さかった。	水温、塩分ともにほぼ平年並み。	青森の長期積雪の終日 2日(遅7日)
5	- 水温は表面で15.8～18.0℃底層で7.7～8.3℃であった。 - 塩分は表面で32.9～33.7、底層で33.4～33.6であった。	- 水温はほぼ平年並み。 - 塩分は、30m以浅(St. 5の表層を除く)で、平年より0.1～0.5高く、その他はほぼ平年並み。	
6	- 水温は表面で15.8～18.0℃底層で8.0～12.4℃であった。前月と比べると、水温は10m以浅とSt. 1、2の全層で約5℃以上昇温した。 - 塩分は表面で33.0～33.7、底層で33.6～34.2であった。	- 水温は10m以浅で平年より0.8～3.6℃高く、その他はほぼ平年並み。 - 塩分は20m層で0.4～0.6高く、その他はほぼ平年並み。	東北北部梅雨入り 27日(遅12日)
	水温は表面で16.5～18.6℃底層で9.9～13.8℃であった。前月と比べるとSt. 3～	水温は表層で0.4～2.0℃低く、その他はバラついていた。	月降水量、下北・津軽半島で平年比250%以上 むつ292.5mmは7月とし

表1のつづき

月	実 況	平 年 比	気象・その他特記事項
7	6の20m以深において、5℃前後昇温した。 - 塩分は表面で33.1～33.6、底層で33.5～34.1であった。	塩分は10m以深で平年より0.45程度高く、その他はほぼ平年並み。	ての極値（1935年～）。
8	- 水温は表面で21.0～22.4℃底層で14.7～18.3℃であった。前月と比べると3～7℃昇温した。 - 塩分は表面で32.7～33.5、底層で33.6～34.2であった。	- 水温は20m以浅において平年より0.2～2.3℃低い。 - 塩分は平年より低めで、特にSt. 1、2の表層・中層において0.5程度低い。	東北北部梅雨明け 9日（遅14日）
9	- 水温は表面で21.8～22.7℃底層で17.6～20.5℃（St. A、Bを除く）であった。 - 塩分は表面で32.7～33.1、底層で33.4～34.0（St. A、Bを除く）であった。	- 水温は平年より0.5℃程度高い。 - 塩分は平年より0.26程度低い。	- 最高水温23.5℃（St. A 0.5 m St. B 0 m） - 月降水量、青森29.5 mm（平年比20%）は少雨の極値（1940年～）。
10	- 水温は、St. 2の底層（17.1℃）とSt. 3の底層（18.1℃）及びSt. A、Bの50m以深（17.6～19.0℃）を除いて、ほぼ20℃であった。 - 塩分は表面で33.2～33.9、底層で33.3～34.1で、西高東低分布していた。	- 水温は平年より0.4℃前後高い。 - 塩分はほぼ平年並みだが、西湾側でやや高め、東湾側でやや低め。	- 八甲田山冠雪 20日（遅3日） - 青森初霜 23日（遅8日） - 青森初氷 23日（早3日） - 八戸初霜 27日（遅4日）
11	- 水温は11.5～13.3℃で鉛直差はほとんどなかった。前月と比べると、最高8.2℃降温、平均7℃降温した。 - 塩分は33.4～33.8で鉛直差はほとんどなく、水平分布は西高東低であった。	- 水温は平年より2～3℃低い。 - 塩分は平年並み。	- 青森初雪 19日（遅8日） - 八戸初雪 19日（遅7日）
12	- 水温は7.6～10.8℃で鉛直差は小さく、水平分布は西高東低であった。 - 塩分は33.5～33.8であった。	- 水温は平年より0.9～2.9℃低い。 - 塩分は平年より0.2～0.4高い。	